

令和8年度施策評価シート（評価対象年度：令和7年度）

基本政策 【分野】	誰もが生涯にわたり安心して健やかに暮らせるまちづくり 【福祉・保健分野】	施策	08_健康づくり	所管部長 取りまとめ所属	健康づくり担当部長 健康づくり課		
施策の内容	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせる環境を整えられるよう、ライフステージに応じた健康づくりの支援を行うとともに、健康診査や各種検診の充実等により、疾病予防と早期発見を図ります。 また、誰もが自殺に追い込まれることのない地域社会の実現をめざし、こころの健康づくりを推進します。						
めざす姿	市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、ライフステージに応じた健康づくりに取り組むことで、心身ともに健やかな毎日を送っています。						
重点事業	習慣化アプリ行動変容支援事業						
施策構成事業	感染症予防対策事業費		疾病予防事業費		がん検診事業費		
	食育推進事業費		市民健康増進事業費		健診・保健指導事業費		
	特定健康診査等事業費　＜特別会計＞		自殺防止対策事業費				
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の 判断理由	重点事業の取組状況は計画どおりの取組が実施できており、こころのサポーター養成者数以外は、施策全体が概ね順調に進捗していると判断できます。				
施策推進上の課題・ 環境変化	令和6年度実施の「健康づくりに関する意識調査」によると、40～50歳代男性の肥満の人の割合が41.6%（令和3年度38.5%）、20～30歳代女性のやせの人の割合が19.0%（令和3年度17.2%）、20～30歳代の朝食欠食する人の割合が22.5%（令和3年度16.8%）といずれも増加し、若い世代や働き盛り世代に向けた事業取組の必要があります。 また、「こころサポーター養成者数」が目標値に対して半分以下の状況のため、目標達成に向け推進していきます。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	順調	順調	概ね順調				
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	健康への課題が見られた働く世代へのアプローチを進めるため、 スマートフォンのアプリ を利用した講座や、特に中小企業等の健康経営につながるような支援（健康測定機器の活用や地域職域連携事業）を継続実施していきます。						
成果指標							
成果指標名 指標の定義	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
こころサポーター養成者数	—	181人	375人	442人			1,250人
こころサポーター養成講座の受講者数（累計）							
日頃、自分の健康に気を配っている人の割合 市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	65.5% (R4)	69.1%	69.6%	68.4%			↗
定期的に健康診査等を受けている人の割合 市民意識調査で、過去1年以内に健康診査または健康診断（市や職場、学校などが実施したも	73.0% (R4)	75.5%	76.4%	78.1%			↗
重点事業の取組内容							
事業名	習慣化アプリ行動変容支援事業						
事業内容	健康的な生活習慣の確立を促すため、「ピアサポート型習慣化アプリ」「食生活改善アプリ」など、スマートフォンによるアプリを活用した健康づくりに取り組みます。						
取組工程	項 目	令和7年度					
		計画		実績			
	習慣化アプリの活用	習慣化アプリの活用		継続実施			
	食生活改善記録アプリの活用	食生活改善記録アプリの活用		継続実施			
	栄養評価尿検査キットの活用	栄養評価検査キットの活用		継続実施			
令和7年度 取組内容	「食生活改善記録アプリ」→「栄養評価尿検査キット」や、歩数等を記録し健康的な生活習慣の継続・確立をめざす「習慣化アプリ」を活用した講座を年2コース開催しました。→また市内企業等に出向き測定会等と合わせて講座を実施し、81名が参加しました。各アプリ利用後のアンケートにおいて、回答者の満足度の平均は10点満点中8.0点でした。						
重点事業以外の取組内容							
令和7年度 主な取組内容	—						